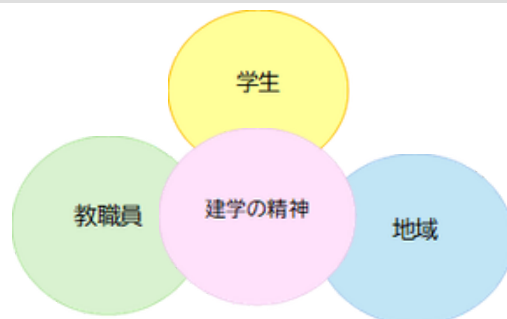




カトリックセンターとは
カトリックセンターは、清泉の建学の精神（聖心侍女修道会の精神）を伝えるため、『恵みへの感謝と祈りのこころ』を大切にして様々な活動を行っています。地域の方や教職員、そして学生の皆さんと一緒に活動しています。



紹介

菅原神父様（学長）

今年も花に春たけなわ、花に囲まれる季節となりました。カトリック教会では伝統的に5月を聖マリアに捧げる月としています。私が30年余り過ごしたローマでもこの季節は町に花があふれ、聖母に捧げられる特別の祈りに彩りを添えました。

聖マリアの生き方を象徴的に表すのが、ルカ福音書が伝える、天使のお告げを受けた時の言葉「私は主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」（ルカ1章38節）であると思います。この聖マリアの「はい」という答えにより神の子イエスは这个世界にやってくることができました。人間の答えが神の受肉を実現させたのです。

人が神に従うことの大切さを聖母の模範を示しているのですが、それは神秘を前に妄信するか自分の頭で考えることを放棄することではありません。「お言葉どおりに」というのですから、マリアは「はい」と答える前に天使と対話をしています。

神の言葉を聞かないところに従順はありません。

そして「この身に」と答えているのですから、聖母の従順は自分自身を差し出す行為であったと思います。中途半端な形ではなく、心も知性も身体も差し出すのが本当の従順です。そうしてこそ神さまの不思議なわざがこの世において、私の従順を通して実現していくのだと思います。



【創立記念ミサ】

日時：2026年05月14日（木）16：15～
場所：聖心館御聖堂



～参加者からのコメント～

信者ではありませんが、菅原神父様の分かりやすい説教（聖書の説明）に聞き入ってしまいました。

これから参加できる行事

お昼休みのミサ、お祈り、黙想、講話

お昼休みに聖心館で20～30分間、お祈りや講話の時間をもつ予定です。随時、お知らせします。

【追悼ミサ】

日時：2026年11月5日（木）16：15～
場所：聖心館御聖堂

【クリスマス・イベント アドヴェントの集い】

日時：2026年11月25日（水）夕方
場所：長野駅東口C

地域と学ぶ「建学の精神」

「聖フランシスコ保育園の園児たちと考えるアドヴェント（待降節）の過ごし方」

「キリスト教と世界の文化」（共通教育科目）

この授業では、キリスト教の主要な祝祭の一つである、クリスマスについて学びを深めています。昨年度は、カトリック長野教会と聖フランシスコ保育園を訪れ、保育園が毎年行っているアドヴェント制作（祈りの花束）の取り組みに、参加しました。学生たちは、3グループに分かれ、それぞれテーマを決め、段ボールなどの廃材を使い、園児たちが作品に触れながら楽しくアドヴェントを過ごせるよう、制作を通してアドヴェントの意味について考えました。

「クリスマスの訪れとともに徐々に灯るキャンドル」、「優しい心で、少しずつ空が晴れていくベトレヘムの星空」「良いことをすると、青から赤になるリンゴ」など、様々な工夫を凝らし、思いを込めた作品に仕上げ、アドヴェントの始まりに、園にプレゼントしました。クリスマスの意味やアドヴェントの過ごし方について作品を通して、園児たちに伝える試みでしたが、まず何よりも、学生自身にとってクリスマスについて深める良い機会となりました。また、信徒の方に、カトリック長野教会の聖堂を案内してもらい、プレゼピオ（馬小屋）を鑑賞し、クリスマスに向けて良い心の準備となりました。



メンバー募集&お問い合わせ

カトリックセンターは学生の皆さんの関連団体と一緒に活動を進めています。

【クラフトサークル】

清泉祭とクリスマス行事に参加しています。ビーズで作ったキーホルダーとスマホストラップの販売などを通してチャリティ活動をしています。



サークルの人間学部OBのコメント

【大募集】

ミサにおける聖書朗読や聖歌歌唱、オルガン演奏、ハンドベル演奏などに少しでも興味ある学生は、下記メールアドレスやカトリックセンターの委員までお申し出下さい。

「ものづくりを通して日々の疲れをリフレッシュすることを目的に活動しています。どんな作品にするのか、材料は何を使うか考える事が楽しく、何か一つの事に打ち込む時間があると気持ちがリセットされます。ものづくりが初めてでも簡単に作ることが出来るものばかりです。息抜きに気軽に立ち寄ってください！」



カトリックセンター

✉ catholic-center@u-seisen.ac.jp

教職員の委員メンバー

人間学部：山崎（カトリックセンター長）

人文社会学部：神門

看護学部：長谷川

短期大学部：松木

総務部：安川・塩澤・水橋

